

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-316966

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)12月26日

H 04 M 1/274

7251-5K

審査請求 未請求 発明の数 1 (全7頁)

⑮ 発明の名称 電話帳登録方式

⑯ 特 願 昭62-154012

⑰ 出 願 昭62(1987)6月19日

⑱ 発 明 者 中 条 孝 文 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社
内
⑱ 発 明 者 浅 見 俊 宏 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社
内
⑱ 発 明 者 竹 林 知 善 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社
内
⑱ 発 明 者 奥 山 敏 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社
内
⑲ 出 願 人 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地
⑳ 代 理 人 井理士 井 柝 貞一
最終頁に続く

明 細 書

1. 発明の名称

電話帳登録方式

2. 特許請求の範囲

メモリ(1)に記憶されている電話帳の内容を表示器(2)に表示し、表示された内容の内の何れかを選択すれば、選択された内容に対応した電話番号を自動ダイヤルするTV電話機において、キーより入力された電話番号及びTV電話接続後の相手の初期画面を電話帳に登録する登録手段(3)を設けたことを特徴とする電話帳登録方式。

3. 発明の詳細な説明

(概要)

メモリに記憶されている電話帳の内容を表示器に表示し、表示された内容の内の何れかを選択すれば、選択された内容に対応した電話番号を自動ダイヤルするTV電話機同士が通話を行うものとした場合の、電話帳登録方式に関し、

電話帳への登録が簡便に行える電話帳登録方式の提供を目的とし、

メモリに記憶されている電話帳の内容を表示器に表示し、表示された内容の内の何れかを選択すれば、選択された内容に対応した電話番号を自動ダイヤルするTV電話機において、キーより入力された電話番号及びTV電話接続後の相手の初期画面を電話帳に登録する登録手段を設ける構成とする。

(産業上の利用分野)

本発明は、メモリに記憶されている電話帳の内容を表示器に表示し、表示された内容の内の何れかを選択すれば、選択された内容に対応した電話番号を自動ダイヤルするTV電話機の、電話帳登録方式の改良に関する。

電話帳を有するTV電話機について図を用いて説明する。

第6図は1例のTV電話機の構成を示すブロック図、第7図は1例の最初にサービス項目を選択

するCRTの画面表示を示す図、第8図は1例の通話中のCRTの画面表示を示す図、第11図は1例の自動ダイヤル時のプログラムのフローチャートである。

TV電話機としては、第6図に示す如く、自分を写し相手側に画像データを送ると共に、必要に応じ、自分のTV電話機のCRT2に表示する為のカメラ9、及び通話をする為のマイク11、スピーカ10、及び第11図に示す自動ダイヤルを行うプログラム等を記憶するROM4、及びプログラムを読み出し制御を行うプロセッサ5を備えている。

又少なくともも電話をかける相手の電話番号を登録してある電話帳を記憶しているメモリ1、及びCRT2への表示を制御する画像制御部7、及びCRT2の表面にあり表示された内容の選択等を行うタッチパネル6、及びメモリ1より読み出した電話番号に対するダイヤル信号、音声、画像情報等を多重化して相手側に送り又相手側よりの多重化された音声、画像情報等を分離する多重分離

部12を有している。尚8は画像制御部からのテキスト、グラフィクス相手側動画像及び自分のモニタ動画像を合成する加算器である。

ここで、電話帳を使用した自動ダイヤル方式について、ROM4に記憶してある第11図のプログラムに従って説明する。

TV電話機を起動すると、CRT2には最初は、第7図に示すTV電話とかキャプテン等のサービス項目が表示される。

そこで、TV電話の欄をタッチパネル6上でタッチすれば、ステップ20にて発呼があったことを検出し、ステップ21にて、メモリ1に記憶している電話帳の内容が表示され、電話をかけたい相手に相当する部分をタッチパネル6上でタッチすれば、ステップ22にてこれを検出し、ステップ23にて、タッチ位置からタッチされた内容がどれであるかを計算し、ステップ24にて、この内容に対応する電話番号をメモリ1上にて検索し、ステップ25にて自動的に電話番号に相当するダイヤル信号を送出する。

これにより相手のTV電話機と接続され通話中となる。

通話中となると、CRT2には第8図に示す如く、相手の画像、必要なら自分の画像及び終了キーが表示される。

通話が終了し、終了キーをタッチパネル6上でタッチすると、ステップ26にて電話終了を検出し、ステップ27にてTV電話機を通話切断状態とする。

このように、電話帳を有するTV電話機では、電話番号及びその他の必要事項を登録した電話帳をメモリ1に記憶しておくことで、指定した相手に対し自動ダイヤルを行うが、電話番号及びその他の必要事項を電話帳に登録する場合煩雑でないことが望ましい。

(従来技術)

第6図のメモリ1に記憶している従来の電話帳は、第9図に示す如く、電話番号50及びこの電話番号の人の氏名51を組として、所要の人数分

登録しておくものであり、第11図のステップ21の電話帳表示では、第10図に示す如く登録された氏名がCRT2に表示され、電話をかけたい相手の氏名をタッチパネル6上でタッチすると、プロセッサ5は、この人の電話番号に対応したダイヤル信号を自動的に送出手にしている。

(発明が解決しようとする問題点)

しかしながら、上記従来の電話帳への登録の方法では、電話番号と共に、CRT2上にカナ文字を表示させ、タッチパネル6上で所要の部分をタッチして氏名を入力せねばならず登録するのに煩雑である問題点がある。

本発明は、電話帳への登録が簡便に行える電話帳登録方式の提供を目的としている。

(問題点を解決するための手段)

第1図は本発明の原理ブロック図である。

メモリ1に記憶されている電話帳の内容を表示器2に表示し、表示された内容の内の何れかを選

戻すれば、選択された内容に対応した電話番号を自動ダイヤルするTV電話機において、キーより入力された電話番号及びTV電話接続後の相手の初期画面を電話帳に登録する登録手段3を設ける。

(作用)

本発明によれば、電話帳への登録としては、電話帳に登録していない人にダイヤルする時、相手の電話番号をキーより入力すれば、登録手段3にて、後は自動的に、該電話番号と共に、TV電話接続後の相手の初期画面が登録されるので、登録が簡便に行われる。

尚、電話帳に登録された人の静止画像は、電話帳の内容が表示される時、CRT2上に表示され、電話をかけたい相手の静止画像を指示すると、これに対応して登録されている電話番号が検索され、この電話番号に対応したダイヤル信号が自動的に送信される。

第4図に示すテンキー30の所望の電話番号に相当するところをタッチパネル6上にてタッチすれば、ステップ3にて、第3図に示す電話番号領域40にセーブし、ステップ4にて、指定された電話番号のダイヤル信号を送出する。

ステップ5にて、TV電話機が相手のTV電話機と接続されて、相手の初期画面が受信完了すると、ステップ6にて初期画面を第3図の静止画像データ領域41にセーブする。

通話中となると、先に説明せる如く、CRT2には第8図に示す如く表示され、通話が終了し終了キーをタッチパネル6上にてタッチすると、ステップ7にて電話終了を検出し、ステップ8にてTV電話を通話切断状態とする。

次にステップ9にて、電話番号領域40及び静止画像データ領域41にセーブした内容を電話帳に登録する必要がある有無がCRT2に表示され、必要なしとすれば、ステップ10にてクリアされ、必要がありとすれば、ステップ11にて電話帳に登録し、ステップ12にて、第3図に示す属性領

(実施例)

以下本発明の1実施例に付き図に従って説明する。

第2図は本発明の実施例の登録時のプログラムのフローチャート、第3図は本発明の実施例の1人分の電話帳登録内容を示す図、第4図は本発明の実施例の電話帳の表示内容を示す図、第5図は本発明の実施例の電話帳属性の表示内容を示す図である。

第2図に示すプログラムは第6図のROM4に既に記憶しており、プロセッサ5はこれを読み出し制御を行うものとして、電話帳に登録していない人にダイヤルする時、電話帳に自動的に相手の静止画像が登録されることにつき第2図に従って説明する。

TV電話機を起動すると、先に説明せる如く、CRT2には第7図に示す如くサービス項目が表示され、TV電話の欄をタッチパネル6上にてタッチすれば、ステップ1にて、発呼であることが検出され、ステップ2にて、CRT2に表示され

域42に所属、氏名、住所等を登録する必要がある有無がCRT2に表示され、必要なしとすれば、その儘ステップ1に帰り、必要がありとすれば、ステップ13にて、所属、氏名、住所等の属性を入力すれば、ステップ14にて属性を第3図の属性領域42に登録し、ステップ1に帰る。

即ち、電話帳への登録としては、電話帳に登録していない人にダイヤルする時、自動的に電話番号と相手の静止画像が電話帳に登録されるので、従来の如く氏名をキーにて入力する必要がなく、煩雑さが解消される。

次に、電話帳に登録されている人に電話をかける時につき説明すると、先に説明した第11図に示すプログラムにより自動ダイヤルされるが、ステップ21では、属性を入力していない場合は、第4図に示す如く登録された相手の静止画像が、電話番号を入力する時に使用するテンキー30と共に表示される。

そこで、電話をかける相手の静止画像を選択し、タッチパネル6上にてタッチすると、ステップ2

5にて、この静止画像に対応した電話番号が検索され、この電話番号に対応したダイヤル信号が自動的に送出される。

尚属性を登録した場合は、第5図の31に示す如く、静止画像及び所属、氏名、住所等と一緒に表示される。

(発明の効果)

以上詳細に説明せる如く本発明によれば、電話帳に登録していない人にダイヤルする時、自動的に電話番号と相手の静止画像が電話帳に登録されるので、電話帳への登録を簡便にすることが出来る効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の原理ブロック図、

第2図は本発明の実施例の登録時のプログラムのフローチャート、

第3図は本発明の実施例の1人分の電話帳登録内容を示す図、

第4図は本発明の実施例の電話帳の表示内容を示す図、

第5図は本発明の実施例の電話帳属性の表示内容を示す図、

第6図は1例のTV電話機の構成を示すブロック図、

第7図は1例の最初にサービス項目を選択するCRTの画面表示を示す図、

第8図は1例の通話中のCRTの画面表示を示す図、

第9図は従来例の電話帳の登録内容を示す図、

第10図は従来例のCRTへの表示を示す図、

第11図は1例の自動ダイヤル時のプログラムのフローチャートである。

図において、

1はメモリ、

2は表示器、CRT、

3は登録手段、

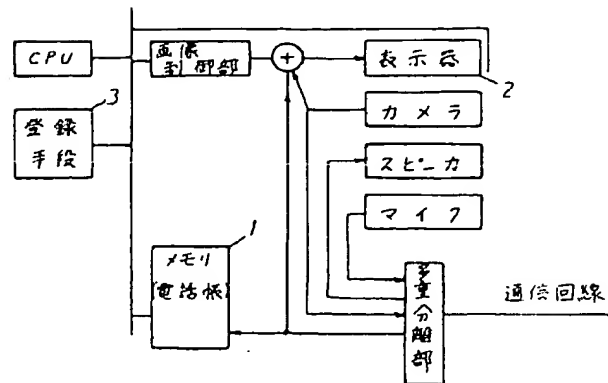
4はROM、

5はプロセッサ、

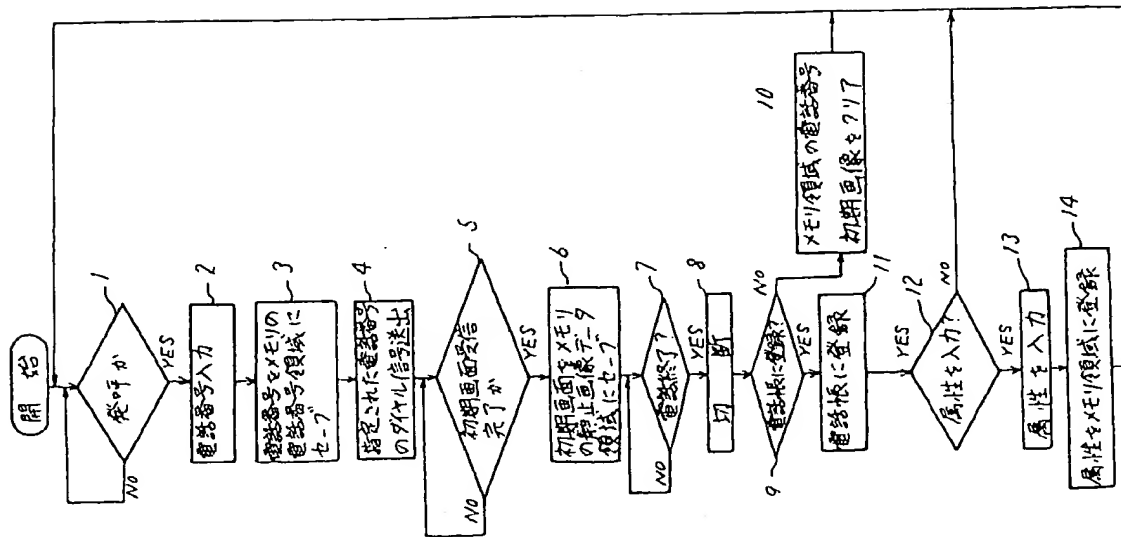
6はタッチパネル、

7は画像制御部を示す。

代理人 弁理士 井桁貞一



本発明の原理ブロック図
第1図



本発明の実施例の登録時のプログラムのフローチャート
第2図

電話番号	40
静止画像デモ	41
属性 所属	42
氏名	
住所	

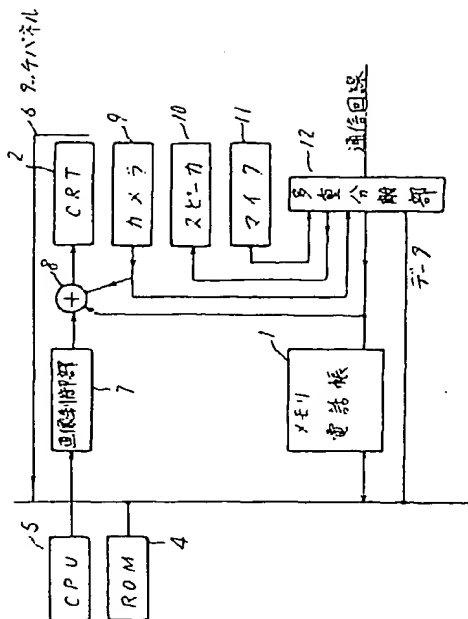
本発明の実施例の1人分の
電話帳登録内容を示す図
第3図

静止 画像
.
.
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0

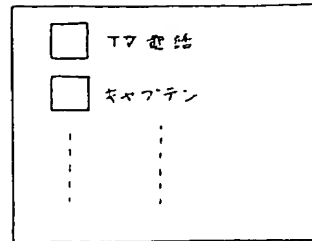
本発明の実施例の電話帳の
表示内容を示す図
第4図

31	静止 画像	静止 画像
所属
氏名
住所
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0

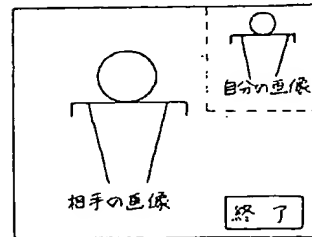
本発明の実施例の電話帳属性の
表示内容を示す図
第5図



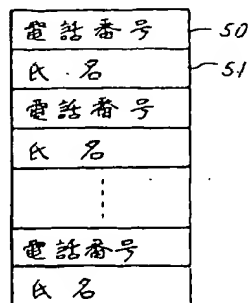
1/31のTV電話機の構成を示すブロック図



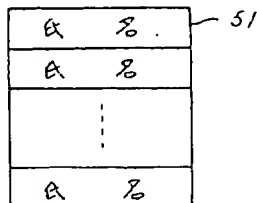
1例の最初にサービス項目を選択する
CRTの画面表示を示す図
第7図



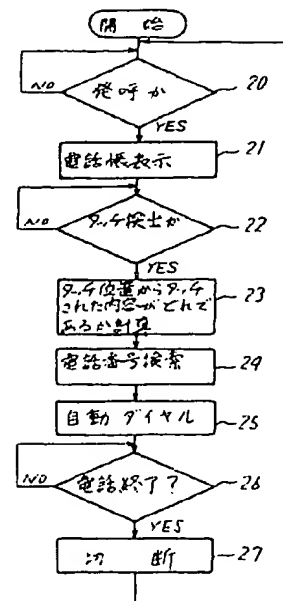
1例の通話中のCRTの画面表示を示す図
第8図



従来例の電話帳の登録内容を示す図



従来例のCRTへの表示を示す図
第10図



1例の自動ダイヤル時のプログラムのフローチャート
第11図

特開昭63-316966(7)

第1頁の続き

⑨発 明 者

水 野

嘉 久

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社
内